

サンルダム建設事業の経緯

昭和63年	4月	実施計画調査着手
平成5年	4月	建設事業着手
平成10年	4月	用地補償基準妥結
平成11年	8月	付替道路工事着手（道道60号）
平成20年	3月	用地補償完了（私有地）
平成21年	12月	検証の対象とするダム事業に選定
平成24年	10月	付替道路の全区間供用（道道60号及び町道）
	11月	ダム検証に係る対応方針の決定（継続）（H24.11.12）
平成25年	7月	本体工事着手
平成27年	9月	本体コンクリート打設開始
平成28年	8月	定礎式（H28.8.7）
平成29年	11月	本体コンクリート打設完了（H29.11.15）
平成30年	6月	試験湛水開始
	2月	試験湛水完了
平成31年	3月	竣工式（H31.3.17）

安心がまた



ダム管理所では、ダムを安全に運用・管理するため、常時、ダムの状況を観測・監視



北海道開発局旭川開発

サンルダムは国が造支川サンル川に建設しう施工効率が良い新し固めた砂利を台形に盛今後とも、名寄市と辺の自然、河川環境をつくり」で、地域とと

一つ

春を待つサンルダム



1988年の実施計画調査からようやく試験湛水(洪水時の最高水位まで水を貯めてダムの安全を確認すること)に漕ぎ着けたサンルダム。2019年1月8日、地域の方を招いて試験放流見学会が行われました。

ダムの目的としては洪水被害の軽減のほか、農業用水、水道用水を確保し、水力発電も行います。魚道を備え、サクラマス^{さくらます}の生息環境を守るよう取り組みます。

3月17日、待望の竣工式が行われ、4月から運用を開始します。



建設部サンルダム建設事業所

所長 正国 之弘 様
最北端のダムで、名寄川の
ました。「台形CSGダム」とい
い形式を採用し、セメントで
り上げて堤体を建設しました。
下川町のまちづくりにダム周
いかす「名寄川地区かわま
ちにも活動していきます。

サンルダム
位置：下川町^{さんる}珊瑚
形式：台形CSGダム
堤高：46m
堤頂長：350m
総貯水量：57,200,000m³

表紙：2019年1月8日、よどみなく流れ落ちる水を背景に。試験放流見学会にて
目次：堤体内の監査廊。揚圧力計でダム湖の水が地盤や堤体に及ぼす力を調べ、
安全を確認中。壁の棚には、電気・各種通信ケーブルが並ぶ
裏表紙：サンルダム全景